

7年産米生育状況(全米販調べ)



【生育】福井は引き続き茎数不足気味

6月11日現在の生育は、引き続き全般に茎数が不足しているが、葉齢から見るに、単に生育の遅れで茎数が不足しているのはあきさかりのみの模様。県によると5月下旬の寡照が影響したよう、北陸は6月10日に梅雨入り(平年より1日早い)しており、日射量の少ない日が続く見通しだ。

○ 福井の7年産水稻生育(複数地点、6月11日時点)

	コシヒカリ (5/16移植)	ハナエチゼン (4/29移植)	あきさかり (5/16移植)
草丈	並 (▲ 0%)	長い (+ 10%)	短い (▲ 13%)
茎数	少ない (▲ 11%)	少ない (▲ 11%)	少ない (▲ 43%)
葉数	並 (▲ 0.3)	並 (+ 0.1)	遅い (▲ 2.0)

注) 下段カッコ内は平年値との比較。

【生育】秋田は低温・寡照で茎数不足

6月10日時点の生育は県全体でやや遅れており、草丈が短く、茎数も少ない状況にある。県によると、移植後の低温・寡照で水温・地温の上昇が緩慢だったことから生育が遅れ、初期分けつの発生が抑制された模様。

○ 秋田の7年産水稻生育(6月10日時点)

	あきたこまち								
	県全体	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝
草丈	短い (▲ 10%)	短い (▲ 15%)	短い (▲ 13%)	短い (▲ 13%)	短い (▲ 14%)	長い (+ 14%)	やや短い (▲ 8%)	やや短い (▲ 6%)	やや短い (▲ 8%)
茎数	少ない (▲ 23%)	少ない (▲ 42%)	少ない (▲ 19%)	少ない (▲ 32%)	少ない (▲ 28%)	やや多い (+ 6%)	少ない (▲ 28%)	少ない (▲ 17%)	並 (▲ 3%)
葉数	やや遅い (▲ 0.5)	やや遅い (▲ 0.6)	やや遅い (▲ 0.5)	やや遅い (▲ 0.6)	並 (▲ 0.3)	並 (▲ 0.3)	やや遅い (▲ 0.4)	やや遅い (▲ 0.4)	やや遅い (▲ 0.6)

	ひとめぼれ		
	中央地区平均	秋田	由利
草丈	やや短い (▲ 9%)	並 (+ 4%)	並 (± 0%)
茎数	少ない (▲ 30%)	少ない (▲ 19%)	少ない (▲ 20%)
葉数	やや遅い (▲ 0.5)	やや遅い (▲ 0.5)	遅い (▲ 0.9)

【生育】宮城は移植時期で茎数まちまち

6月20日現在の生育は、GWごろに移植したひとめぼれは茎数が多いものの、それ以外の移植時期は平年より茎数が1割程度少ない。これは他品種に同じ傾向。

○ 宮城の7年産水稻生育(6月20日現在)

	ひとめぼれ	ササニシキ	つや姫
草丈	並 (▲ 1%)	やや長い (+ 5%)	やや長い (+ 6%)
茎数	やや少ない (▲ 6%)	少ない (▲ 11%)	やや少ない (▲ 8%)

	ひとめぼれ(移植時期別)		
	5/1~9移植	5/10~19移植	5/20~31移植
草丈	長い (+ 10%)	並 (▲ 2%)	やや短い (▲ 5%)
茎数	多い (+ 21%)	少ない (▲ 12%)	少ない (▲ 12%)

注) 下段カッコ内は平年値との比較。

市場価格推移(スポット)	産地置場	単位: 百円	増減
	6/18	6/26	
新潟魚沼コシヒカリ	360-361	350-351	▲10
新潟コシヒカリ	355-356	345-346	▲10
秋田あきたこまち	350-351	340-341	▲10
宮城ひとめぼれ	335-336	330-331	▲ 5
茨城コシヒカリ	340-341	330-331	▲10